

図書館だより 1月号



北島中学校

あけましておめでとうございます！

新しい年が始まりましたね。皆さんの今年の目標は何でしょうか？図書室の目標は皆さんが訪れやすく、使いやすい図書室にすることです。自分で設定した目標が達成できるように、一年間頑張ってください！

新しい年の始まりに日本文化を学んでみませんか？図書室には、文学だけでなく、衣服や料理、芸術など様々な本があります！日本文化のコーナーを作りますので、ぜひ図書室をのぞいてみてください！

冬休みに向けての特別貸出の返却期限は、**1月15日**までになっています！

期日までに読み切れなかった方は延長手続きにきてください！



今回は、12月に貸出が多かった本を紹介します！

・ぼんぱいやのパフェ屋さん 全5巻

舞台は現代。虚弱体質の主人公**“萩原音斗”**は、体質を改善するために遠い親戚の経営するパフェ屋さん^{いそろう}に居候することになります。さまざまな人と関わりながら、成長していく“音斗”の物語です。

タイトルにあるように、“吸血鬼”が登場しますが、みなさんが考える吸血鬼とは少し違います。いったいどんな吸血鬼なのでしょう？ぜひ、読んでみてください。

・“みんなの知らない”シリーズ

ディズニーヴィランズ（悪役）を主人公にした物語です。悪に手を染めるようになった経緯が丁寧に描かれており、悲しみや苦悩、怒りなど様々な感情が交差している作品です。今までは嫌いだっただかもしれないキャラクターでも見方が変わるかもしれませんよ。

・「カゲロウデイズ」で中学〇〇が面白いほどわかる本

図書室には、理科と数学の2冊があります。カゲロウデイズを知っている人はもちろんのこと、中学校3年間のおさらいがしたいという人にもオススメです。1冊やれば、苦手な部分を発見できるかもしれませんよ！

・ポケモン空想科学読本

ポケモン図鑑に書かれている説明を科学で考えてみたという本です。たとえば「ピカチュウの放つ『10万ボルト』の電撃はどんな威力なのか？」などがあります。実際の威力を読んだら驚くこと間違いなしです！この本が好きな方には、**ジュニア空想科学読本**もオススメです。



* 図書室開館時間

放課後

* 借りられる本の数

3冊

* 借りる期間

2週間

貸出期限が過ぎた本を持っている方は図書室まで返却にきてください。期限内に読み切れなかった時は延長手続きにきてください。



令和2年2月に実施した「図書室アンケート」から

電子黒板での図書紹介について

電子黒板でおすすめの図書を紹介しているのを知っていますか？

213

188

「はい」と答えた人のうち、電子黒板を見て図書室に入ったことはありますか？

23

190

■ はい ■ いいえ

今はもう知っていると思いますが、図書室の開館時間になる下校時に、図書の紹介を電子黒板で映しています。新着図書や、先生・図書委員・読者からのオススメの本をタイムリーに紹介しています。しかし、左図の令和2年2月のアンケートから、紹介しているのを知っていても、それを見て図書室に入る人は少ないことがわかります。

今年度、北中祭文化の部での任意参加による演奏等で目を引いたのがYOASOBIの「夜に駆ける」でした。後にYOASOBIの曲は小説を基に作られていると知りました。みなさんは曲の基になる小説は読みましたか？きっと曲の背景を具体的に知ること、更に曲も小説の世界も深まるはず。 「夜に駆ける」を聞きながら小説を読むことを想像するとワクワクしてきませんか。

また、10月号の図書だよりで歴史マンガを紹介しました。これも歴史上にあったことをただ覚えるのではなく、「人間ドラマ」を知ること、楽しく学習し成績アップにもつながるからです。まさに、どちらも「楽しさ」による相乗効果なのです。

「興味がある」「これが好き」「ちょっと読んでみたい」等、気軽に図書室で本を探してみてください。ない時は、図書室にリクエスト用紙があります。ぜひ、みなさんの中にある「これいいかも」を教えてください。



日本経済新聞の掲示から

先日こんな話を聞きました。「洗濯する時に、洗剤ではなくマグネシウムを入れると、洗濯物も臭くならないし、洗濯機もきれいになるんだって」。実は、これは11月下旬から一か月掲示していた日本経済新聞で、先生がオススメ記事に選んでいたものでした。そこで興味がわき、インターネットで「マグネシウムによる洗濯」を調べてみました。先に書いた良いところもありますが、一般的な洗濯の方法となるにはまだ課題があることがわかりました。それでも生活の身近なところで科学や時代の変化を感じた記事でした。また、数年前ぐらいから、職業の変化もよく耳にするようになりました。今の中学生が就職をする頃には、現在ある職業でもなくなることも、同じ職業であっても働き方が変わること、今はない職業が生まれることです。そんな時代の変化を感じられるようにと掲示したのが日本経済新聞です。新聞は字が小さく、難しい内容も多いので近寄りやすい雰囲気があったかもしれませんが、興味がある部分や少し見た内容がまったく関係のないところで結びつくこともあるかもしれません。また、みなさんからの希望があれば、時期を見て掲示したいと思っています。先生達のコメントやオススメ記事の見出しだけでも見ていた人は、何か感じてくれたのではと期待しています。